

委員会名	自己点検者（委員長名）	①当該年度の活動内容の概要 (簡条書きで良く、参考資料は不要)	②委員会内での自己評価と問題点の抽出 (簡条書きで良く、参考資料は不要)	③次年度の改善方策 (簡条書きで良く、参考資料は不要)
学生厚生委員会	学生厚生委員長（廣瀬 誠）	<p>(1) 学生厚生委員会を中心に、学生支援課および健康相談室が連携を取りながら学生を支援している。</p> <p>(2) 修学に関する支援として前年度同様の支援に加え、2022年度は、経済的援助が必要な学生（受験生）に対して、出願前に奨学生候補者として経済的な支援を約束する「めざせ明薬・予約型奨学金」を創設した。また、合理的配慮が必要な学生をサポートするために「支援・配慮申請書」を新たに作成し、運用を始めた。なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応として「明治薬科大学 COVID-19 の対応手順」を制定（2022.9.8改訂）し、周知・徹底している。</p> <p>(3) 2022年度の物価高に対する学生支援活動として、後援会に補助いただき、11月28日（月）～12月2日（金）、学生食堂において本学の学生限定で「100円定食（1日限定200食）」を提供。好評だったことから第2段として、<b>大学予算により</b>、12月19日（月）～12月23日（金）にも本学の学生限定で「100円定食（1日限定300食）」を提供した。また、後援会の補助により、12月12日（月）から食堂利用者に野菜ジュースを無償配布（最大1000本まで）した。</p> <p>(4) 各種ハラスメントの防止については、学内常置委員会として設置されている「ハラスメント防止委員会」の活動を通じて、ハラスメント防止のための理解を促す活動に取り組むとともに、相談窓口として各種相談に対応した。</p> <p>(5) 1～3年次の早期体験学習、体験学習では、医療系をはじめとする関連分野への見学や奉仕活動、ボランティア活動に参加する体験を通して薬学へのモチベーションを高めるとともに、医療人に求められている人格形成を図っており、低学年からのキャリア形成支援を行っている。</p> <p>(6) 2022年5月より対面授業を再開したが、進路就職支援活動は前年度に続き、オンラインやオンデマンドを主としながらも、一部の企画については感染拡大防止に最新の注意を払いながら、対面で実施した。特に「明薬次世代ネットワークの集い」は3年ぶりの開催となり、在学生の希望者も参加できるように内容を変更したことで、満足度の高い開催となった。</p>	<p>(1) 本学における学生支援活動は概ね適切に実施されている。</p> <p>(2) 休学時の授業料の取り扱いについて、現状では条件を満たした場合に授業料を1/2に減免しているが、文科省発出の関連通知や他大学での取り扱い等も視野に入れたうえで、見直しの要否が求められている。</p> <p>(3) <b>合理的配慮が必要な</b>学生の情報について、関連部署や関連教員の間でスムーズな共有が必要であるものの、きわめてデリケートな個人情報であることから慎重な取り扱いが求められている。</p>	<p>(1) 他大学の状況を調査し、トレンドを把握するとともに、必要に応じ、授業料だけでなく、施設設備費等の減免についても検討する。</p> <p>(2) 現在は<b>合理的配慮が必要な</b>学生について、本人からの支援・配慮申請により可能な範囲で対応しているが、進級するにつれてどのようなフォローができるかも検討していく。</p>

委員会名	自己点検者（委員長名）	①当該年度の活動内容の概要 （箇条書きで良く、参考資料は不要）	②委員会内での自己評価と問題点の抽出 （箇条書きで良く、参考資料は不要）	③次年度の改善方策 （箇条書きで良く、参考資料は不要）
女子寮せせらぎ管理運営委員会	野澤玲子（委員長）	1) 入寮式 2) フードロス対策欠食届けアプリの導入 3) 追加RA任命 4) 七イベントの開催 5) 令和5年度募集要項内容確認 6) 9月：在寮希望者選考 7) 食堂椅子、電子レンジ、トースターの交換 8) 12月：推薦入試合格者の入寮者選考 9) 予定2月：一般入試合格者の入寮者選考、令和5年度RA募集 10) 大学ホームページ記載内容の無断転載サイト運営者に対する削除依頼	1) 例年4～5名のRAの応募があるところ、令和4年度は当初応募が3名だった。入寮式でRAについて説明をおこなったところ新入寮生から3名の追加応募があった。 2) スマホアプリの導入により、食品廃棄量が減っている 3) 寮の備品の経年劣化が散見され、新品を購入した。 4) 薬学科の入学定員増のためか入寮希望者が予想以上に多く、特に在寮希望者選考が厳しくなるおそれがある。 5) 物価高騰の煽りを受けランドリー機器料金改定を業者から提示されている。 6) 新型コロナウイルスに感染した寮生もいるが、寮内のクラスターは発生していない。	1) 入寮式などでRAについてその役割などを説明する機会を設ける 2) RAを通じて、寮の備品などの状況をヒアリングする 3) 入寮者選考方法について検討していく 4) ランドリー機器料金改定について本学案を提示中 5) 引き続き、新型コロナウイルスの基本的な感染防止対策を徹底する。

委員会名	自己点検者（委員長名）	①当該年度の活動内容の概要 （簡条書きで良く、参考資料は不要）	②委員会内での自己評価と問題点の抽出 （簡条書きで良く、参考資料は不要）	③次年度の改善方策 （簡条書きで良く、参考資料は不要）
禁煙推進委員会	禁煙推進委員会（馬場正樹）	<p>(1)当委員会では、教員および関連部署事務職員（学生支援課・施設管理課・財務課・総務課）により構成され、医療系大学の責務として学内全面禁煙の推進とそれに伴う様々な諸問題について検討を行っている。</p> <p>(2)周辺地域での喫煙による近隣住民からの苦情への対応を検討した。</p> <p>(3)引き続き、禁煙サポートを実施する旨の周知を行った。</p> <p>(4)禁煙サポートは今年度1件実施した。</p>	<p>(1)本学における禁煙推進活動は、学生支援課をはじめ総務課、施設管理課などの各担当部門との連携により概ね良好に行われている。</p> <p>(2)近隣での喫煙による住民からの苦情に対して、有効な手段がなく対応に苦慮している。</p> <p>(3)経口禁煙補助薬チャンピックスの出荷停止に伴い禁煙外来を行う医療機関がなく、しばらくは市販ニコチンパッチで禁煙サポートをする必要がある。</p>	<p>(1)引き続き、学内全面禁煙と近隣での喫煙禁止について改めて周知する</p> <p>(2)禁煙サポートを継続して行う。</p>